

2024年度決算・2025年度予算

【2024年度決算】

事業活動計算書のサービス活動収益は、7,705,831千円で予算比100.0%、前年比106.6%でした。新規事業として、はぐくみの社君津子ども家庭支援センター(君津市・相談支援事業)、こもれびなりた(成田市・相談支援事業)の開所がありました。その他、きなりの街すわだ(市川市・有料老人ホーム)を休業し、定期巡回事業と合わせての再開を予定しています。

経常増減差額は、305,670千円で予算比142.2%、前年比727.3%でした。経常増減差率は4.0%(前年0.6%)です。

【2025年度予算】

法人全体の予算は、サービス活動収益計画を7,826,171千円(前年実績対比101.6%)、サービス活動費用計画を7,677,857千円(前年対比103.4%)、当期活動増減差額153,442千円の編成です。経常増減差率は2.0%(前年実績4.0%)となります。

最終的な経常増減差額は153,442千円で編成しました。予算は各事業所の数値を合算しています。

事業活動計算書 (2024年度決算：2025年度予算)

単位：千円

勘定科目		2024年度決算 金額	前年比 (23年度実績対比)	2025年度予算 金額	前年比 (24年度実績対比)
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	4,158,545	103.2%	4,329,618	104.1%
	老人福祉事業収益	299,386	102.4%	329,416	110.0%
	児童福祉事業収益	883,190	142.1%	801,563	90.8%
	保育事業収益	657,065	103.6%	636,461	96.9%
	就労支援事業収益	40,095	122.4%	41,200	102.8%
	障害福祉サービス等事業収益	989,207	103.4%	1,028,863	104.0%
	医療事業収益	228,264	109.5%	216,544	94.9%
	その他の事業収益	410,623	97.9%	412,337	100.4%
	建物貸付事業収益	27,780	115.3%	27,427	98.7%
	ヘルパー講座事業収益	851	72.6%	1,750	205.7%
	経常経費寄附金収益	10,797	135.6%	544	5.0%
	その他の収益	28	59.6%	450	1607.1%
	サービス活動収益計(1)	7,705,831	106.6%	7,826,171	101.6%
費用					
人件費	5,377,273	103.4%	5,522,087	102.7%	
事業費	624,034	109.6%	680,768	109.1%	
事務費	822,064	95.6%	888,824	108.1%	
就労支援事業費用	54,309	121.7%	54,592	100.5%	
福祉用具事業費用	303,865	103.5%	288,369	94.9%	
減価償却費	336,588	99.8%	337,598	100.3%	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△95,073	-	△94,412	-	
徴収不能額	19	29.1%	30	153.9%	
徴収不能引当金繰入	2,803	123.3%	-	-	
サービス活動費用計(2)	7,425,882	102.9%	7,677,857	103.4%	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	279,949	1990.7%	148,314	53.0%	
外増減の部	収益				
	サービス活動外収益計(4)	44,319	93.0%	22,820	51.5%
	費用				
サービス活動外費用計(5)	18,598	94.4%	17,692	95.1%	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	25,721	92.0%	5,128	19.9%	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	305,670	727.3%	153,442	50.2%	
特別増減の部	収益				
	特別収益計(8)	5,298	1.9%	1,650	31.1%
	費用				
特別費用計(9)	8,786	3.2%	1,650	18.8%	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△3,489	-	0	-	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	302,181	750.3%	153,442	50.2%	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	911,307	102.9%	1,168,016	128.2%
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	1,213,487	131.1%	1,321,458	108.9%
	その他の積立金取崩額(14)	18,973	97.7%	20,450	107.8%
	その他の積立金積立額(15)	64,444	190.6%	7,600	11.8%
次期繰越活動増減差額(16) = (13) + (14) - (15)	1,168,016	128.2%	1,334,308	114.2%	

*2025年度予算の「前期繰越活動増減差額」は予算編成時点での予測値で編成しています。

社会福祉法人生活クラブ(生活クラブ風の村)
〒285-0011 千葉県佐倉市山崎529-1
TEL.043-312-0833(代表)
発行責任者/三好規

「2024年度ふりかえり
・2025年度事業計画」
の全文はこちら⇒⇒



「風の村つうしん」は
法人サイトにも掲載
しております⇒⇒



生活クラブ風の村は地域に開かれた、
そして常に正直な組織運営をめざしています。

風の村 つうしん

2025年7月

1. 働く職員の処遇改善を行うことで より良いケアにつなげることが出来ます

参議院議員選挙が近づき、ある党は国民全員に2万円給付する、別の党は消費税減税を行うなど、国民負担を下げるアピールをほとんどの党が行っています。この総額は何兆円にも及ぶものですが、それができるのだったら、処遇改善が遅れている医療職や介護職の賃金引き上げをできるように公定価格見直しをすぐにも行って欲しいとつくづく思います。賃金格差が再び広まった2023年に初めて全国の介護職数が減ってしまいました。そして、2024年

は介護保険報酬改定で経営危機に陥った事業者が多数出て地方ではサービス供給体制がとれなくなっています。このような背景があって介護事業団体が政治的に活発な活動を行った成果、公定価格増額に向けてやっと国が方針を示しました。私たちも職員の処遇改善が重要課題です。ケアに関わる職員それぞれが自分にゆとりがあることによってより質の高いケアにつながっていくと考えます。



理事長 三好規

2. 残念なできごとが続いています

介護保険法、障害者総合支援法、生活困窮者自立支援法、児童福祉法など弱い立場にある人たちが救済される法律整備は進んできたものの、相変わらず悲しいニュースが続きます。法律はできたものの、本当に困っている人を支援につなげていく制度やその資源が不足していることが問題と

してあるのではないかと考えます。一方、営利を目的とした企業が障がい者グループホームを全国展開し、食材を削って十分な食事を提供していなかった問題で事業停止となったり、有料老人ホーム入居者に不必要な訪問看護を重ねて巨利を得ている問題が露見したりしました。弱い立場

にある人にたちが搾取の材料にされ、虐げられることがないように法律が運用されることが必要です。同時に、一面的な指摘によってケアの現場に偏ったしくみがつくられてしまう危険性もあり、俯瞰的な制度運用が求められます。

3. 社会福祉法人としての存在価値を追求していきます

いわゆる福祉ビジネス領域は20年くらい先まで、まだまだ拡大するので、福祉とは縁のなかった会社も乗り出しています。大手介護事業者も含めて保険会社グループに収斂され大企業グループになったところもありますが、地元密着で地域の人々に信頼されながら長年頑張ってきたところは、介護報酬の切り下げと人材確保の難しさから淘汰され

ています。74年前に社会福祉法で社会福祉事業の担い手として社会福祉法人が位置付けられ、長くに渡って、存在を示してきました。しかし、2000年以降は、営利追求団体も含めて多様な事業者が加わり、サービスの質を競い合うという点では良い面もありますが、前記のような事態も起きています。必ずしも社会福祉法人が善では

なく経営者による多額の使い込みや、利用者虐待もあって目的を見失っているところもあります。私たち生活クラブ風の村は生活クラブ生協を母体として設立され2000年から事業を行ってきましたが、常に正直に、誠実に行動することを組織運営の基本に置いてきました。引き続き、開かれた組織運営をめざしていきます。



「千葉市あんしんケアセンターにれの木台」
地域包括支援センターの業務を千葉市より
新規受託しました。(2025年4月1日～)
住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、
適切なサービスを提供できるよう支援いたします。
【住所】千葉市花見川区朝日ヶ丘2-1-7-2
【TEL】043-205-4851

